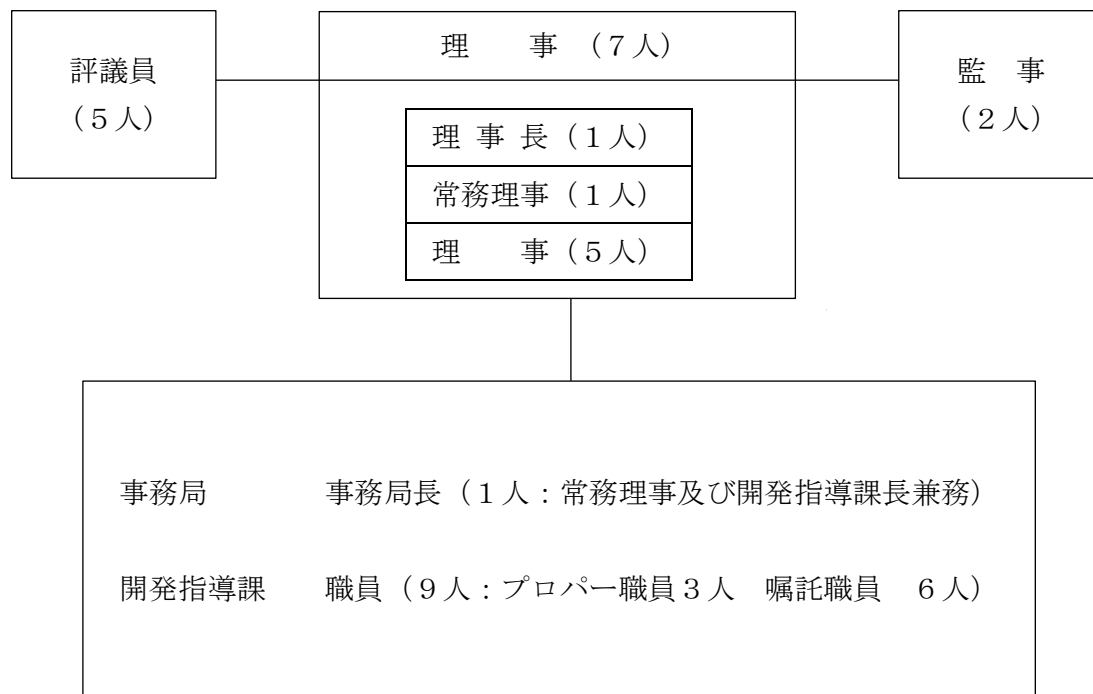


平成28年度
事業報告書

I 公益財団法人佐賀県長寿社会振興財団組織図（平成 29 年 3 月 31 日現在）



II 基本財産の造成状況

(単位：千円)

区 分	平成 3 年度	平成 5 年度	累 計	備 考
指定基本財産	200,000	0	200,000	県出捐金
一般基本財産	0	10,000	10,000	佐賀銀行からの寄付金
計	200,000	10,000	210,000	

Ⅲ 公益財団法人佐賀県長寿社会振興財団組織等(平成 29 年 3 月 31 日現在)

1 評議員名簿

氏 名	役 職 名	備 考
池田 秀夫	佐賀県医師会会長	
泉 俊彦	(株) サガテレビ代表取締役社長	
谷口太一郎	嬉野市長	
藤原 俊之	佐賀県健康福祉部長	
本告ミヨ子	佐賀県スポーツ推進員協議会副会長	

2 役員名簿

①理 事

氏 名	役 職 名	備 考
古川 清	前佐賀市久保泉長寿会 川久保第一老人クラブ会長	理事長 (代表理事)
伊藤 正	(社福) 佐賀県社会福祉協議会副会長	
内山 善之	ゆめさが高大唐津校同窓会会長	
鍋島 恵美子	西九州大学短期大学部生活福祉学科長	
松岡 傳	ゆめさが大学佐賀校同窓会会長	
三苫 紀美子	佐賀県地域婦人連絡協議会会長	
永松 和久	佐賀県長寿社会振興財団事務局長	常務理事 (業務執行理事)

②監 事

氏 名	役 職 名	備 考
池田 一志	佐賀県中小企業団体中央会参与	
市丸 孝	佐賀県国民健康保険団体連合会常務理事	

3 事務局職員一覧

職 名	氏 名	採用年月日	退職年月日
事務局長	永松 和久	H. 27. 11. 10	H. 29. 3. 31
主 査	中溝 孝博	H. 3. 4. 1	
主 査	鷺崎 秀行	H. 9. 4. 1	
主 事	山田 弘倫	H. 18. 8. 1	
常勤嘱託職員	下村 泰司	H. 26. 4. 1	
常勤嘱託職員	石橋 知子	H. 26. 4. 1	
常勤嘱託職員	森田 由香	H. 28. 4. 1	
常勤嘱託職員	鶴田 照子	H. 28. 6. 1	
非常勤嘱託職員	宮崎 恵	H. 28. 4. 1	
非常勤嘱託職員	大代 敦子	H. 28. 4. 1	

IV 平成 28 年度事業報告

自 平成28年 4 月 1 日

至 平成29年 3 月31日

本財団は、平成26年3月19日付け佐賀県指令25第181号で佐賀県知事より認定を受け、平成26年4月1日から公益財団法人として事業を開始した。

本財団は、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、関係団体・機関の協力を得て、組織的・総合的に高齢者の社会活動の促進、社会の各層・各世代の高齢者に関する意識の改革等を図り、もってすべての県民が生涯を健康で生きがいをもって生活することができる明るい長寿社会の実現に寄与することを目的としている。

平成28年度事業は、定款第4条に掲げる事業に沿って実施した。

I 評議員会・理事会等の開催

1. 評議員会

(1) 第5回評議員会（定時）

決議年月日 平成28年6月16日（みなし決議）

- 決議事項
- ①平成27年度事業報告及び決算について
 - ②常務理事の報酬額の改定及び「公益財団法人佐賀県長寿社会振興財団役員等の報酬等及び費用弁償に関する規程」の一部改正について
 - ③理事の選任について（7件）
 - ④監事の選任について（2件）
 - ⑤評議員の選任について（3件）

(2) 第6回評議員会（臨時）

決議年月日 平成29年3月28日（みなし決議）

- 決議事項
- ①理事の選任について

2. 理事会

(1) 第10回理事会

日時 平成28年6月3日（金） 10時～11時10分

場所 アバンセ 2階 特別会議室

決議年月日 平成28年6月3日（金）

- 決議事項
- ①平成27年度事業報告及び決算（案）の承認について
 - ②常務理事の報酬額の改定（案）及び「公益財団法人佐賀県長寿社会振興財団役員等の報酬等及び費用弁償に関する規程」の一部改正（案）について
 - ③理事候補者の選任について
 - ④監事候補者の選任について
 - ⑤評議員候補者の選任について
 - ⑥第5回定時評議員会の実施について
- 報告事項
- ①理事長の職務執行状況について
 - ②常務理事の職務執行状況について

(2) 第11回理事会

決議年月日 平成28年6月16日（みなし決議）

- 決議事項
- ①理事長の選定について
 - ②常務理事の選定について

(3) 第12回理事会

日 時	平成29年3月24日(金) 14時～15時20分
場 所	グランデはがくれ 1階 黒髪の間
決 議 事 項	①平成29年度事業計画書及び収支予算書(案)について ②主たる事務所の変更について ③理事候補者の選出について ④第6回定時評議員会の実施について
報 告 事 項	①理事長の職務執行状況について ②常務理事の職務執行状況について

3. 監事監査

日 時	平成28年5月18日(水) 14時～16時
場 所	佐賀県長寿センターはればれ 3階 研修室
監 査 事 項	平成27年度事業報告並びに決算について

2 事項別事業内容

(1) 高齢者の社会活動についての県民への啓発普及事業

(ア) インターネットによる情報収集提供事業

・財団のホームページを通じて、高齢者に必要な生活情報や財団イベント情報などを、見やすく分かりやすい内容で紹介。

①財団ホームページ	<ul style="list-style-type: none">・ 財団の具体的な事業内容等の紹介・ 各種講座・イベント等の案内、その他各種報告書 等
②他機関のホームページとの協調等	以下の機関のホームページとのリンクにより、利用者の利便等を図った。 <ul style="list-style-type: none">・ 生涯学習関係機関（アバンセ等）・ 高齢者向け情報ネットワーク—長寿ネット（長寿社会開発センター）・ 相談機関（弁護士会、社協等）・ 行政機関（国、県等）

(2) 高齢者の社会活動を推進するための組織の育成事業及び団体等連絡調整事業

(ア) 介護予防推進事業

「佐賀県元気高齢者社会参加活動推進事業」(サポーター事業)

①事業内容

一般高齢者が援助を必要とする高齢者をサポートすることで、ポイントを受け取り、そのポイントに応じて換金、できる制度を構築し、ボランティア活動を通して、生きがい・健康づくりに取り組み、介護予防につなげる。

②佐賀中部広域連合からの事業受託

- ・内 容 登録した活動者が、高齢者福祉施設で行った傾聴、催事・館内移動補助等のボランティア活動に対してポイント付与。
- ・活動場所 活動受入施設として登録した高齢者福祉施設 72ヶ所
- ・活動者登録 436人(新規:82人、辞退:15人)
- ・登録研修会 25回
- ・活動延べ日数 1,749日
- ・交付金申請者 109人

③杵藤地区広域市町村圏組合からの事業受託

- ・内 容 登録した活動者が、高齢者福祉施設で行った傾聴、催事・館内移動補助や公民館での介護予防運動やサロン等のボランティア活動に対してポイント付与。
- ・活動場所 活動受入施設として登録した施設・団体 54ヶ所
- ・活動者登録 321人(新規:92人、辞退:15人)
- ・登録研修会 19回
- ・活動延べ日数 3,326日
- ・交付金申請者 177人(換金140人、指定寄付37人)

④佐賀県元気高齢者社会参加活動推進事業(県補助事業)

全県的な取り組みを推進するため、各市町の介護保険担当課、各保険者と連絡調整、及び本格実施のための準備を行った。

(1) 県内未実施地区との連絡調整

- ・鳥栖地区広域市町村圏組合、伊万里市、有田町、玄海町との連絡調整
- ・各市町で実施の介護予防事業把握とポイント制度への取組を検討

(2) 既存事業の拡充に向けた検討調整

- ・佐賀中部広域連合で、健康体操教室や高齢者相談窓口など介護予防事業に関する場所を受入機関とする事業拡充を行った。
- ・ポイントの換金以外の方法を検討し、杵藤地区広域市町村圏組合圏内において寄付が選択できるようになった。

⑤普及啓発

- ・市町役場、公民館にパンフレット・ポスターの配布
- ・研修会の実施

平成28年12月13日（火）アバンセホール 200名参加

（イ）高齢者社会活動支援

高齢者がこれまで培ってきたそれぞれのキャリアを活かして社会活動へ踏み出すために、ミーティング、スキルアップ、調整等を行う拠点として会議室の提供（長寿センターはればれ）、印刷サービスを行った。

(3) 高齢者の社会活動の振興のための指導者等育成事業

(ア) ゆめさが大学運営事業

①事業内容

高齢者に学習と交流の機会を提供し、その生きがいの高揚と社会活動の促進を図るとともに、地域社会を担う人材を養成するため、ゆめさが大学を開講し講義を実施した。

②実践課程（第5期生・平成27年度入学）

・講義数

年間30日×2講義(@2時間)=60講義（120時間）

・在籍者数

佐賀校・・・120人

唐津校・・・33人

鹿島校・・・21人

・卒業式

期日 平成29年3月23日（木）

会場 アバンセホール

卒業生 174人 （皆勤者 34人）

・学習内容

学習領域	学習事項
地域活動と 社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興（まちづくり）演習 ・社会活動の実践者に学ぶ、 ・趣味を活かした社会参加 ・卒業生の実践事例等
リーダーシップ トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくり ・計画立案 ・リーダーシップ論
講座	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県の歴史 ・考古学 ・民俗学 ・民俗芸能 ・佐賀平野と東アジア ・さが恵比須八十八ヶ所巡り ・世界遺産登録 ・佐賀市中心街活性化への取り組み ・九州の魅力 ・佐賀の陶磁器文化 ・ガーデニング ・茶道入門 ・短歌、俳句、川柳入門 ・アジアの文化 ・絵手紙 ・折り紙 ・水墨画 ・九州陶磁文化館見学、絵付け体験 ・家庭介護 ・介護保険と施設 ・気功入門 ・民踊入門 ・レクリエーション ・健康食の調理実習 ・高齢者の住居と衣服 ・ボランティア活動 ・介護保険と施設 ・福祉施設
やってみよう (体験学習)	<p>実践課程の学生が小グループに分かれて、地域活動を体験した。地域活動のノウハウを学び、また、自らの可能性を発見し、卒業後の地域活動に役立てる。</p>

	<p>【佐賀校】 徐福巡り、施設訪問、えびす探訪、体にやさしく無駄が少ない料理 佐賀城本丸歴史館ガイドボランティア体験、緑化活動 施設訪問（ハンドベル）</p> <p>【唐津校】 松原一揆を知る～富田才治と仲間たち、唐津市観光ガイド 絵手紙展の開催、施設訪問</p> <p>【鹿島校】 子育て支援ボランティア、音訳ボランティア、ガイドボランティア 施設訪問</p>
学校行事	<p>・自治会活動・卒業文集の発行 (講義運営補助・サークル活動・自主研修・親睦)</p>

③基礎課程（第6期生：平成28年度入学生）

- ・講義数
年間30日×2講義(@2時間)＝60講義（120時間）

- ・在籍者数

佐賀校・・・122人

唐津校・・・38人

鹿島校・・・37人

- ・入学式

期日 平成28年4月7日（木）

会場 佐賀市文化会館中ホール

- ・学習内容

学習領域	学習のねらい	学 習 事 項
学習の必要	生涯学習への取り組み。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の勧め ・文章の書き方
現代社会の理解	現代社会をとらえる視点を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を取り巻く環境 ・暮らしの中の消費問題 ・少子高齢社会男女共同参画 ・有明海の現状 ・環境と健康な暮らし ・時事問題 ・高齢者と家族 ・身近な環境問題 ・人権擁護 ・高齢者の福祉等
歴史の理解	学習への取り組み、郷土の歴史等を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・名護屋城博物館、久里双水古墳見学 ・佐賀の歴史、先人の偉業

健康の増進	身体の老化を正しく受け止め、健康づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養と健康 ・薬の話 ・老化を防ぎ若さを保つ食品 ・心の健康 ・健康とスポーツ ・高齢者とスポーツ ・レクリエーション ・社会参加のための健康 ・老化と疾病 ・生活習慣病と予防 ・病気と救急時の対応
地域活動の基礎知識	社会参加活動の基礎知識を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における高齢者の役割 ・高齢者リーダーの役割 ・指導者としての話し方 ・仲間づくり ・ボランティア活動
学校行事	学生相互の親睦と連帯意識の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動 (講義運営補助・サークル活動・自主研修・親睦) ・学生文集「睦互老」の自主編集・発行

学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動 ・卒業文集の発行 (講義運営補助・サークル活動・自主研修・親睦)
------	---

④大学院

学習意欲に応え、大学院を設置。

- ・講義数

年間30日×2講義(@2時間)＝60講義(120時間)

- ・在籍者数

佐賀校・・・99人

唐津校・・・37人

- ・入学式

期日 平成28年4月7日(木)

会場 佐賀市文化会館中ホール

大学院入学生 135人

- ・修了式

期日 平成29年3月7日(火)

会場 アバンセホール

大学院修了生 127人

- ・学習内容

学習領域	学習事項
老年学	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきと生きる ・エンディングノートの書き方 ・宗教学 ・介護保険と家庭介護
佐賀を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀の商工業 ・佐賀の農業 ・佐賀の経済史 ・佐賀の近現代史 ・佐賀の人物史 ・元気な企業 ・佐賀の伝統文化 ・佐賀県の気象特性 ・水が織りなす佐賀平野の自然と文化

現代社会の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン ・エネルギーを考える ・環境問題を考える ・健康で長生きするために ・介護保険と家庭介護 ・農作物の新品種、温暖化と農業
修了記念講演	「必要とされるよろこび」 講師 おおいた観光特使 矢野大和

⑤地域活動相談会

ゆめさが大学学生の卒業後の活動につなげるため、シニアの活動を受け入れている団体とゆめさが大学学生が直接対話できる場を設けた。

対象	期日	会場	参加団体
唐津校大学院	6月2日(木)	りふれ	4団体
唐津校実践	6月13日(月)	りふれ	4団体
佐賀校実践	6月14日(火)	アバンセ	6団体
鹿島校実践	6月21日(火)	かたらい	4団体
佐賀校大学院	6月22日(水)	アバンセ	5団体

(4) 高齢者の生きがいと健康づくりのための機会提供、支援及び連絡調整の事業

(ア) さがねんりんピック2016

①事業内容

高齢者のスポーツの振興を図るとともに、明るい長寿社会づくりへの県民の幅広い理解を得ることを目的に、第30回全国健康福祉祭あきた大会(平成29年)の選手選考会を兼ね開催した。

②期 日 平成28年10月 8日(土)、16日(日)、22日(土) 23日(日)、
29日(土)、30日(日)

③さがスポーツフェスタ2016 合同開会式

「佐賀県民体育大会」「佐賀県障害者スポーツ大会」「さがねんりんピック」合同開会式

- ・日 時 平成28年10月15日(土) 8:50~9:30
- ・会 場 佐賀県総合体育館 佐賀市日の出1-21-15
- ・参加選手 さがねんりんピック「太極拳大会」参加選手

④実施種目・参加者数等

種 目	参加者数	会 場	10月						
			8日 (土)	16日 (日)	22日 (土)	23日 (日)	29日 (土)	30日 (日)	
秋 田 大 会 選 考 会 種 目	卓球	351	佐賀市立体育館				○		
	ソフトテニス	40	佐賀市立テニスコート			○			
	ソフトボール	177	佐賀市健康運動センター				○		
	ペタンク	54	佐賀市民運動広場	○					
	マラソン	21	佐賀県総合運動場		○				
	弓道	30	佐賀市立弓道場		○				
	剣道	13	芦刈文化体育館		○				
	グラウンド・ゴルフ	609	はなはなパーク						○
	太極拳	21	市村記念体育館						○
	軟式野球	301	大和中央公園自由広場				○	○	
	パークゴルフ	51	神水川パークゴルフ場					○	
合計	1,668								

※ ソフトボールの決勝戦は雨天延期のため12月4日（日）に実施

⑤競技主管団体

佐賀県卓球協会、佐賀県ソフトテニス連盟、佐賀県ソフトボール連盟、
佐賀県ペタンク協会、佐賀陸上競技協会、佐賀県弓道連盟、佐賀県剣道連盟、
佐賀県グラウンド・ゴルフ協会、佐賀県武術太極拳連盟、佐賀県軟式野球連
盟、佐賀市パークゴルフ協会

(イ) 佐賀県高齢者美術展

①事業内容

高齢者の創作意欲を一層喚起するため、高齢者の美術作品を佐賀県立博物館
に一堂に展示し、県知事賞をはじめ各賞を授賞した。

また、幼稚園児の作品を併せて展示し、世代間交流を図った。

②期 日 平成28年5月26日（木）～29日（日）

③会 場 佐賀県立博物館 2、3号展示室

④出品者 ・個人183人、団体(老人福祉施設等)10団体
・平均年齢 76.4歳 ・最高齢者97歳

⑤出品数 193点

部門	日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	施設の作品
出品数	28	51	10	34	17	43	10

⑥観覧者 1,600人（4日間）

⑦主な受賞者

賞名	部門	氏名	題名
佐賀県知事賞	日本画	松尾雅夫	春の山路
	洋画	古瀬 博	まちかど・ときめき
	彫刻	堀 華泉	孔雀と花の彫刻 平面刻
	工芸	山口ケイ子	折鶴蘭文（型絵染着物）
	書	立石満月	壽量品
	写真	吉田 忠	水平飛行
佐賀県議会 議長賞	日本画	小柳義則	落雷に耐えた大楠
	洋画	渡邊 潔	群泳

賞 名	部 門	氏 名	題 名
	彫刻	小野義一	大黒天
	工芸	山口貞子	牡丹壺
	書	福富久千代	百人一首
	写真	山下紘一	雨のスクランプル交差点
佐賀県芸術 文化協会賞	日本画	大宅キヨ子	ヒマワリさんあっち向いてホイ
	洋画	成清泰男	老木
	彫刻	貞松好秋	能面 獅子口
	工芸	岩永和枝	慕情 (鹿島錦、木目込み)
	書	古川万鶴代	漢詩
	写真	松浦 孝	夜明けの工場
佐賀県長寿 社会振興財 団理事長賞	日本画	永尾義武	秋彩
	洋画	市川晴基	マラローラの港 (イタリア)
	彫刻	太田眞一	旬 (ピース豆、大根、ひわ)
	工芸	鬼木フサコ	保育園の稲刈り
	書	古賀晴恵	俳句 松江重頼の句
	写真	北御門敬之	祝成人
	施設の作品	介護老人保健施設 グリーンヒル幸寿園	飛び出したでござる (猿) !
佐賀県老人 クラブ連合 会会長賞	日本画	川原英子	跡
	洋画	岩田英美子	旧唐津銀行
	彫刻	石瀧春義	ひとときの時間
	工芸	福島節子	パッチワーク (干支)
	書	小野慧華	抗世駿詩
	写真	大野健男	日没の飛行
	施設の作品	好日の園	布あそび

(ウ) 全国健康福祉祭への選手派遣

①事業内容

- ・高齢者のスポーツ・文化活動の振興を図るため、選手124人を派遣。
- ・選手は、さがねりんピック2015の成績等に基づく各競技団体の推薦により決定。
- ・佐賀県高齢者美術展の佐賀県知事賞作品6点を出品。

開 催 日	平成28年10月15日（土）～18日（火）
開 催 県	長崎県
参加種目及び派遣人数	○スポーツ ()内は人数 卓球(8) 弓道(5) テニス(6) 剣道(7) ソフトテニス(6) グラウンド・ゴルフ(6) ソフトボール(15) 太極拳(7) ゲートボール(9) サッカー(19) ペタンク(4) ラグビーフットボール(20) マラソン(3) ○文化 囲碁(2)、将棋(3)、健康マージャン(4)、美術展(6点)
平均年齢	67.5歳
主な成績等	卓球 予選リーグ3位 テニス 予選リーグ3位(優秀賞) ソフトボール 優勝 マラソン 10km 5位(優秀賞) 弓道、グラウンド・ゴルフ 高齢者賞(89歳・84歳)

②結団式

開 催 日	平成28年10月4日（火）
会 場	アバンセ ホール
内 容	県旗授与 授与者 佐賀県地域交流部 文化・スポーツ局 局長 白井 誠 旗 手 ゲートボール 渡邊幸人(玄海町) 激励のことば 佐賀県地域交流部 文化・スポーツ局 局長 白井 誠 誓いのことば 選手代表 卓球 高橋光雄・高橋政子(佐賀市)

(エ) 佐賀県高齢者囲碁・将棋大会

①事業内容

- ・高齢者が日頃親しんでいる囲碁・将棋の腕試しと交流の場を提供。
- ・第30回全国健康福祉祭あきた大会（平成29年）の選手選考会を兼ねる。

②期日 平成29年2月26日（日）10：00～16：00

③会場 アバンセ 第1研修室、第2研修室

④参加者数 92人

・囲碁大会 63人

上級者の部	中級者の部	初級者の部	女性の部
26人	26人	10	1

※女性は1名の参加であったため審判と協議の上、初級者の部に繰り入れて対局実施した。

・将棋大会 29名

上級者の部	中級者の部	初級者の部
11人	8人	10

⑤入賞者

・囲碁大会

	優勝	準優勝	第三位
上級者の部	松尾幸夫	谷口博俊	用松一吉
中級者の部	釘崎正弘	小川俊明	中島弘之
初級者の部	中川 誠	横町晃義	武富利光
女性の部	佐藤宣子	-	-

*最高齢者賞 野口 實（佐賀市 91歳）

・将棋大会

	優勝	準優勝	第三位
上級者の部	岸川 実	馬場孝義	古賀弘昭
中級者の部	石田恒雄	中島順一	木原 昇
初級者の部	黒田敏幸	内田喜久男	大石忠雄

*最高齢者賞 鬼塚義知（佐賀市 87歳）

⑥その他

囲碁・将棋参加者のうち、それぞれ最高齢者には表彰を行った。

(5) 高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報の収集・提供事業及び調査・研究事業

全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携

高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の発展向上と、各都道府県推進機構相互間の情報交換や事業推進等について、全国的な意見交換・協議の場として設置された「全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会」と連携をもち、より一層の効果的事業展開を図った。

会議の名称	開催期日	場 所	内 容
全国会議	平成28年7月4日 平成29年2月23日	東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省行政説明 ・長寿社会開発センター事業説明 ・全国健康福祉祭概要説明
職員等研修会	平成28年8月31日 ～9月2日	東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがい健康づくり事業等の概要 ・推進機構における活動事例、活動支援に関する好事例 ・グループ演習
テーマ別会議	平成28年11月15日	東京都	高齢者大学・各種講座終了後、社会活動にどうつなげるか
	平成28年12月6日	東京都	ねんりんピック選手の派遣等における課題解決に向けて
九州地区実務者会議	平成29年2月7日	宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・九州各県推進機構の事業運営に関わる10議題の協議 「高齢者大学事業終了後の活動支援等について」 「美術展の運営について」 「ねんりんピック秋田2017への選手派遣方法について」など